

【編集後記】自衛隊出身の講師は近年では二人目ですが、アジアを研究する学究派であることが共通しています。今回の福山隆さんは韓国駐在武官としてインターネットリジェンスの世界を体験した後、ハーバードへ留学。体験を生かして執筆活動を活発に行っています。講演会では近著の出版社三社に声をかけていずれも出張販売となりました。普通は一社なのでこの記録は当分破られることはないでしょう。

東日本大震災の被災地についての講演が二年続いた浪川政さんですが、今回も被災地の話が本当はしたかったところを、強引に金融の話とこちらで決めてしまいました。自信がないと謙遜していましたが、新聞などでは得られない切り口の金融事情を披露してくれました。それでも最後はやはり震災がらみの話に。飯館村の主婦たちの手づくり衣料品を柏そごうで販売して予想外の売れ行きと、プロデュース力も立派なものです。

政治評論家は政党色を出さないのが普通ですが、それにしても森田実さんほど好き嫌いをはっきりさせる人は少ないでしょう。特に保守性が強く、市場原理主義に近くて、小さな政府志向の政治家はお嫌いなようですね。となると選択肢は非常に限られてしまいますが、評価する政治家の名前を若干ですが挙げられました(本文ご参照)。

次号は神野直彦氏(混迷する世界と日本の使命)、佐々木毅氏(世界の政治、日本の政治)、伊藤邦雄氏(日本企業、復活の条件)、熊谷亮丸氏(日本経済と金融・為替)です。(A\*T)

## 東洋経済 経済倶楽部講演録 (2013年2月号)

2013(平成25)年2月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 山縣裕一郎 編集人 浅野純次

発行 東洋経済新報社  
編集 社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <http://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 東港出版印刷

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉